



日頃より地域の皆様のご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。  
夏木立の緑濃く、木漏れ日も輝く季節になりました。皆様方におかれましては  
いかがお過ごしでしょうか。

中部縦貫自動車道の建設工事も最盛期へと進んでいくこととなりますが、  
地域の方々にご迷惑をおかけしないように、安全第一で進めてまいります。  
まだまだ事業は続きますが、引き続き今後ともよろしくお願い申し上げます。

～中部縦貫道工事関係者一同～



## 国土交通省 高山国道事務所 工事安全協議会総会の紹介

平成29年6月26日(月)

『平成29年度 国土交通省高山国道事務所工事安全協議会』総会が開催されました。

労働災害防止に関して(高山労働基準監督署)安全衛生課長より講話を頂き、

各支部現場における事故防止に向けた工夫について発表がありました。安全宣言・事故防止決意表明致しました。

## 安全宣言

建設業の労働災害は、他の産業と比較して発生率は高く、依然として労働災害が多発しています。

無事故・無災害は建設業界に携わっている我々に課せられている社会的責任であり、これを達成するには、今までの安全に対する意識を再認識し、活動のさらなる展開が、最も重要だと考えられます。急激な経済情勢の変化に伴う建設業界において、リスクを含んだ諸問題を解決していくには、自らが改革の担い手となる事が、不可欠であります。

工事安全協議会員はこれらのことをよく認識し、全会員が一丸となって積極的に労働災害防止活動に取り組まなければなりません。

本大会を契機とし、安全な職場作りを推進するため、安全活動の重要性を再認識し安全宣言スローガン

『見えますか?あなたのまわりに潜む危険 みんなで見つけて考える安全管理』に基づき、次の事項を重点的に実施します。

1. 情報を共有し作業員1人1人が安全に対する認識を高める。
2. 作業に潜む危険の芽を摘み取り、安全な職場を作る。
3. 事業場の全員が作業内容を十分に把握し、不安全行動をおこさない。
4. 安全活動の活性化を図る。
5. 危険再認識教育を実施します。

以上、全会員が一丸となり労働災害撲滅を期することを宣言します。

平成29年6月26日

## 事故防止に向けた工夫について

### 現状の課題

作業中の注意事項・危険ポイントをうっかり忘れてしまう。

#### 〈現場の声〉

- ・朝礼やKY時に危険ポイント等確認し、その時は理解しているが、実際作業していると作業の事を考え、忘れてしまう。
- ・同じ作業を繰り返す時は、安全意識が次第に低くなってしまふ。

### 現場での対策

現場内の危険・注意箇所に看板や設備を設置。注意事項の見える化を図る。

現場内の危険・注意箇所に注意喚起看板・施設を整備し、気が付きやすくする。



うっかり防止



### 現状の課題

～土砂運搬時の交通ルール・マナー～

- ・法定速度が守られているか
- ・第三者(一般車両)への配慮(優先)ができていないか
- ・安全運転への集中力向上と持続

運行マナーの確認だよ



### 現場の工夫

～運行ルートを活かす打ちバトロールと動画撮影～

- ・大型ダンプ運行について、一日1回(時間不特定)、一般車になりすまし、運行ルートを動画撮影しながらバトロールをする。
- ・バトロール内容について
  - ・すれ違いが出来ない待避場が伴う道にて、あえて逆走し、対向車に対する一般車両優先車への配慮、前方への注意力をチェック。
  - ・ダンプ後方に付き、速度の確認、一般車優先による追い越しさせるタイミング、寄せ方のチェック。
  - ・結果報告を翌朝の安全朝礼にて行い、是正指導をする。また走行動画を安全教育にて視聴させ、講評を行い、危険箇所・走行の洗い出しや、模範車走行を反映させる。
- ・一般車(第三者)目線で走行し、動画で視聴させることで、一般車の心理[圧迫感(恐怖感)、不愉快感]を把握させ、運行方法をより良い方向へ導くことができます。また打ちバトロールは運転者に対しても適度の緊張感を持たせることができます。



作業前のミーティング時に空撮写真を使用する

今までは、平面図を使用して作業前の打合せをしていた。

ドローンの活用

現在は...

ドローンにて撮影した現場写真を使用し、作業前の打合せ

利点は...

- ・現場状況が一目で把握できる。
- ・若年層から高齢の方まで、理解してもらえる。
- ・伝える側も、簡単にできる。

写真にて現場状況が把握できるため、新規入場者に対しても非常に友好的である。



## 開催状況

高山国道事務所長 挨拶



決意表明



安全宣言



労働災害防止 講話

